2027 年度 大阪歯科大学

大学院看護学研究科
博士前期課程・博士後期課程

学生募集要項

2027

大阪歯科大学
OSAKA DENTAL UNIVERSITY

建学の精神

歯科医学・医療に関する専門知識、技術の習得とともに、思いやりの心を涵養し、自らの選んだ道に深い使命感をもって、社会に対する奉仕的人生観を体得して、「博愛と公益」に努める。

看護学研究科の目的

我が国が直面する保健・医療・福祉の複合的な課題に高い倫理観を持って対応できる、科学的な知見と俯瞰的な視点を持ち、自立して高水準の研究を遂行し、社会実装を視野に入れた研究力と確かな教育力を兼ね備えた人材を養成する。

看護学研究科の概要

本研究科の博士前期課程と博士後期課程は、基礎となる看護学部で展開している８領域を３つの領域「基礎看護学領域」、「生涯看護学領域」、「広域看護学領域」に統合し、看護の専門性を本研究科で継続して深めることができる構造としている。具体的には、看護学の概念や理論体系、看護技術、人間の身体のしくみ、看護実践に活かす教育方法やマネジメントを探求する「基礎看護学領域(学部：基礎看護学)」、人は生涯にわたり発達する存在であるという視点に立って看護を探究する「生涯看護学領域(学部：成人看護学、老年看護学、小児看護学)」、地域社会に根差した看護活動を予防的・健康増進的視点から探究する「広域看護学領域(学部：地域・在宅看護学、公衆衛生看護学、精神看護学、母性看護学)」として、学部の８領域を博士課程の看護専門領域の３領域に再編・統合する。これにより、学部で修得した専門的知識・実践力を基盤として、看護学をより抽象度の高い理論的・研究的視点から再構築することが可能となる。この統合により、個別の領域の専門性を保持しつつ、領域横断的な視点から研究課題を設定し、複雑化する健康課題を総合的に捉えることができる。

目次

I. 博士前期課程 4

1. 養成する人材 4
2. 三つのポリシー　ディプロマ・ポリシー ―学位授与の方針― 4
3. カリキュラム・ポリシー ―教育課程の編成・実施方針― 4
4. アドミッション・ポリシー ―入学者受け入れ方針― 4
5. 教育課程 5
6. 募集人員 6
7. 入試日程 6
8. 出願資格 6
9. 担当教員および事前相談 7
10. 個別の入学資格審査（該当者のみ） 8
11. 出願方法 9
12. 入学検定料 10
13. 入学試験 11
14. 合格発表 11
15. 入学手続・学納金等 11
16. 入学辞退 12
17. 合格又は入学許可の取消し 12
18. 大学院設置基準第 14 条による教育方法の実施 12
19. 長期履修制度 13

II. 博士後期課程 14

1. 養成する人材 14

2. 三つのポリシー　ディプロマ・ポリシー ―学位授与の方針― 14
3. カリキュラム・ポリシー ―教育課程の編成・実施方針― 14
4. アドミッション・ポリシー ―入学者受け入れ方針― 14
5. 教育課程 15
6. 募集人員 16
7. 入試日程 16
8. 出願資格 16
9. 担当教員および事前相談 17
10. 個別の入学資格審査（該当者のみ） 18
11. 出願方法 18
12. 入学検定料 20
13. 入学試験 20
14. 合格発表 21
15. 入学手続・学納金等 21
16. 入学辞退 22
17. 合格又は入学許可の取消し 22
18. 大学院設置基準第 14 条による教育方法の実施 22
19. 長期履修制度 22

III. 博士前期・後期課程　共通事項 24

1. 研究テーマ 24
2. お問合わせ 25
3. アクセス地図 25

I. 博士前期課程

1. 養成する人材

高い倫理観を持ち、論理性と批判的思考力に裏付けられた高度な専門的知識を備え、看護学における研究過程を計画的に遂行する研究能力を培い、地域や多職種と協働して課題を解決し、保健・医療・福祉の発展に貢献できる能力を有する人材

2. 三つのポリシー　ディプロマ・ポリシー ―学位授与の方針―

博士前期課程における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は以下の能力を培い、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に「修士（看護学）」の学位を授与する。

DP 1．論理性と批判的思考力を持ち、看護学の課題を探究する高度な専門的知識を修得している

DP 2．高い倫理観を持ち、看護学の研究過程を計画的に遂行するための研究能力を修得している

DP 3．地域や多職種と協働して課題を解決し、保健・医療・福祉の発展に貢献できる能力を修得している

3. カリキュラム・ポリシー ―教育課程の編成・実施方針―

博士前期課程のディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、教育内容、教育方法を明確化するため、カリキュラム・ポリシーは以下のとおり定める。

CP1. 教育課程は、「共通科目」、「専門科目」「専門研究科目」の 3 科目区分から構成する。

CP2. 論理性と批判的思考力を持ち、看護学の課題を探究する高度な専門的知識を修得するため、「共通科目」に看護学の教育・研究・実践の基盤に関する「看護理論特論」「看護倫理特論」「看護教育特論」「看護管理特論」「英語論文特論」等を配置する。

CP3. 看護学の研究過程を計画的に遂行する研究能力を修得するため、「共通科目」に「研究方法論特論Ⅰ」、「研究方法論特論Ⅱ」、「研究方法論特論Ⅲ」等を配置する。

CP4. 地域や多職種と協働して課題を解決し、地域・保健・医療・福祉の発展に貢献できる能力を修得するため、「共通科目」に「地域ヘルスケア論Ⅰ」等を配置し、「専門科目」に「基礎看護学」「生涯看護学」「広域看護学」の 3 領域を設ける。領域には授業科目として各専門看護学の特論、演習ＭⅠ及び演習ＭⅡを配置する。

CP5. 看護学の研究過程を計画的に遂行し、修士論文を作成するため、「専門研究科目」に「看護学特別研究M」を配置する。

教育・学習方法は、講義及び演習を中心とする。学修成果は、授業科目では到達目標と評価基準をシラバスに明示し総合的に評価し、研究では主査 1 名と副査 2 名の審査委員による修士学位論文審査・最終試験により評価する。

4. アドミッション・ポリシー ―入学者受け入れ方針―

博士前期課程のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの目標・内容を踏まえ、どのような入学者を受け入れるか、入学者に求める学力を明確化するため、アドミッション・ポリシーを以下のとおり定める。

AP 1．看護の場における現象や課題を論理的・批判的に探究する意欲のある人

AP 2．倫理観を持ち、看護学研究を遂行するために学修を継続する意志と、そのための基礎的な力を有する人

AP３．地域や多職種と連携し、保健・医療・福祉の課題に関心を持ち取り組む意欲のある人

5. 教育課程

カリキュラム・ポリシーに基づき、次の３つの科目群にカリキュラムを分類し、体系的に教育を行う。

【1】 共通科目 研究者及び指導・教育者としての素養を養成する科目

【2】 専門科目 高度な専門性の高い知識と技能を学修する科目で、講義と講義後に学修する演習・実習がある科目

【3】 専門研究科目 課題を基に研究して、成果を修士論文としてまとめる科目

＜科目一覧＞

科目区分		科目名	配当年次	単位数	
				必修	選択
【1】共通科目		看護理論特論	1年前期	2	
		研究方法論特論Ⅰ	1年前期	2	
		研究方法論特論Ⅱ	1年前期		2
		研究方法論特論Ⅲ	1年前期		2
		看護倫理特論	1年前期	2	
		看護教育特論	1年後期	2	
		看護管理特論	1年後期		2
		英語論文特論	1年後期		2
		地域ヘルスケア論Ⅰ	1年後期	2	
【2】専門科目	基礎看護学領域	基礎看護学特論	1年前期		2
		基礎看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		基礎看護学演習ＭⅡ	2年通期		2
	生涯看護学領域	成人・老年看護学特論	1年前期		2
		成人・老年看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		成人・老年看護学演習ＭⅡ	2年通期		2
		小児看護学特論	1年前期		2
		小児看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		小児看護学演習ＭⅡ	2年通期		2
	広域看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論	1年前期		2
		ウィメンズヘルス看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		ウィメンズヘルス看護学演習ＭⅡ	2年通期		2
		地域看護学特論	1年前期		2
		地域看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		地域看護学演習ＭⅡ	2年通期		2
		精神看護学特論	1年前期		2
		精神看護学演習ＭⅠ	1年通期		2
		精神看護学演習ＭⅡ	2年通期		2

【3】専門研究科目	看護学特別研究Ｍ	1年～2年 通期	8	

＜修了要件＞

2年以上在学し、所定の単位を30単位以上修得した上で、修士論文の審査及び試験に合格すること。

修得すべき所定の単位は次のとおり。

項目	必修・選択の別	必要単位数
共通科目	必修	10単位
	選択	6単位以上
専門科目	選択	6単位以上 ただし、6単位は専攻する専門看護学の特論、演習ＭⅠ・ＭⅡを履修
専門研究科目	必修	8単位

6. 募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程（2年）	6名

7. 入試日程

入学資格審査　※ 申請書類受付期間	2026年12月10日（木)～ 2026年12月16日（水）【必着】
出願期間	2027年1月7日（木)～ 2027年1月21日（木）【必着】
試験日	2027年2月7日（日）
合格発表日	2027年2月18日（木）
入学手続期間	2027年2月18 日（木)～ 2027年3月2日（火）【必着】

※ 該当者のみ申請が必要となります。

「8．出願資格」の（7）～（8）により出願を希望する方は、出願前に個別の入学資格審査を受けてください。

（申請方法の詳細は、8ページ「個別の入学資格審査」をご覧ください。）

8. 出願資格

看護師又、保健師又は助産師の免許を取得済み又は取得見込みであり、次のいずれかに該当する者を受験資格者とする。なお、出願を希望する者はあらかじめ希望する研究指導教員に事前相談を行うものとする。

(1) 大学（短期大学を除く。）を卒業した者または卒業見込みの者

(2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または修了見込みの者
(7) 文部科学大臣が指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号(学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号の規定による大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者))
(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、入学までに 22 歳に達する者
外国人留学生は、上記(1)～(8)に加えて、次の要件が必要です。
(9) 日本語能力試験（JLPT）N1 相当の者
※ (8)により出願を希望する者は、看護系の短期大学・専修学校・各種学校等を卒業・修了し、看護職として 2 年以上の実務経験を有する者

9. 担当教員および事前相談

博士前期課程で研究に関わる教員は以下の通りです。出願（または個別の入学資格審査の申請）に当たっては必ず事前相談を行ってください。
各教員の研究テーマは、24 ページの一覧でご確認ください。

領域	専門看護学（所属）	2027 学生募集	職位	氏名	アカウント
基礎看護学領域	基礎看護学	◎	教授	石原逸子	ishihara-i
	基礎看護学	◎ ※1	教授	三輪建二	setchi-odu ※2
	基礎看護学	◎	准教授	北尾良太	kitao-r
生涯看護学領域	成人・老年看護学	◎	教授	田村恵子	tamura-k
	成人・老年看護学	◎	教授	雄西智恵美	onishic
	成人・老年看護学	◎	教授	大山末美	oyama-s
	成人・老年看護学	◎ ※1	教授	笹谷真由美	setchi-odu ※2
	小児看護学	◎	教授	祖父江育子	sobue-i
	小児看護学	◎ ※1	准教授	高尾憲司	takao-k
広域看護学領域	ウィメンズヘルス看護学	◎	教授	渡邊浩子	setchi-odu ※2
	ウィメンズヘルス看護学	◎	教授	福山智子	fukuyama-t
	地域看護学	◎	教授	星野明子	hoshino-a
	地域看護学	◎	教授	合田加代子	goda-k
	地域看護学	◎	准教授	野口宣人	noguchi-n
	精神看護学	◎	教授	清水純	setchi-odu ※2

メールアドレスは、アカウントの後ろに　@cc.osaka-dent.ac.jp　をつけて下さい。

※1　研究指導補助教員

※2　アカウント setchi-odu は看護学研究科開設準備室のメールです。準備室経由で該当教員に連絡します。

その他：事前相談を行う担当教員が定まっていない場合は、setchi-odu までご連絡ください。

10. 個別の入学資格審査（該当者のみ）

「8．出願資格」の(7)(8)のいずれかにより出願を希望する方は、入学資格審査の申請を行ってください。

提出書類	【全員共通】 ・入学資格審査申請書（本学所定の様式） ・9 ページの「出願書類」1～4、6～8 の書類 ・審査結果通知返送用封筒 ※特定封筒郵便物（青色のレターパックライト）に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入して同封してください。 【外国人留学生】 上記全員共通の書類に加え、9 ページの「出願書類」12～15 ※提出書類のうち、本学所定の様式については本学ホームページ（10 ページ参照）からダウンロードし、印刷してお使いください。
提出期間	「入試日程」入学資格審査申請書類受付期間　　6 ページ参照 ※受付期間内必着
提出方法	・レターパック、簡易書留等、配達記録の残る方法で郵送すること。 ・封筒の表面に「大学院看護学研究科（博士前期課程）入学資格審査申請書類 在中」と朱書きすること
提出先	大阪歯科大学 大学院看護学研究科開設準備室 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8-1　　電話：072-864-3205

（注）提出された書類については、理由の如何にかかわらず返却できません。必要があれば、ご自身で控えを取り保管してください。また、書類に不備があった場合には受付ができませんので、よくお確かめの上お送りください。

＜審査結果＞

入学資格審査結果は審査が終了次第文書にて郵送します。出願開始までに通知が届かない場合は「お問い合わせ先」へご連絡ください。出願資格が認められた場合は、入学検定料を納入の上、出願期間内に出願書類（個別の入学資格審査で提出済みの書類を除く）を郵送してください。

11. 出願方法

出願書類

1	入学願書	本学所定の様式
2	経歴書	本学所定の様式
3	研究業績書	本学所定の様式
4	志望理由書	本学所定の様式
5	受験票・写真票	本学所定の様式
6	成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。
7	卒業（見込み）証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。 ※独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方は学位授与証明書
8	免許証のコピー	看護師、保健師、助産師免許のコピー （サイズが大きいものは A4 サイズに縮小コピー）
9	入学検定料振込証明書類	10 ページ「入学検定料」参照
10	受験票返送用封筒	特定封筒郵便物（青色のレターパックライト）に 郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上同封してください。
11	長期履修申請書 （該当者のみ）	本学所定の様式

（注）6～8 について、現在の氏名と異なる場合は、異動内容が確認できる戸籍抄本等を同封してください。

外国人留学生は、上記 1～10 に加えて、次の 12～15 の書類も同封してください。

12	日本語能力試験（JLPT）に 関する認定結果及び成績に関する証明書	N1 以上とします。
13	パスポートのコピー	顔写真・氏名・パスポート番号が確認できるページのコピー
14	在留カードのコピー	カードの両面をコピー
15	在学中の経費支弁能力を証明する書類	【本人が学費・生活費を支弁する場合】 下記①②のいずれか、又はこれに準ずる書類を提出してください。 ① 奨学金給付の証明書又は就労（予定）証明書等 ② 本人名義の銀行等における預金残高証明書 （借金等による一時的入金がない。） 【本人以外が学費・生活費を支弁する場合】 下記①～③のいずれか、又はこれに準ずる書類及び本人と経費支弁者の関係を証明する書類を提出してください。 ① 経費支弁者の在職証明書・営業許可証等の就労証明書 ② 経費支弁者の収入証明書 ③ 経費支弁者の預金残高証明書

● 出願書類作成上の注意

（1）本学所定の用紙は、本学ホームページからファイルをダウンロードし、印刷してお使いください。

大阪歯科大学 TOP ページ ＞大学院看護学研究科(仮称)特設サイト ＞ 入試情報

https://www.osaka-dent.ac.jp/faculty/hs_grad/mc/admission.html

（2）出願書類は自筆で記入又はパソコンで作成してください。ただし、パソコンで作成する場合でも、氏名は必ず自筆で記入してください。記入に当たっては、黒色のペン又はボールペンで記入してください。（温度変化により無色になるインキを使用しているペンでの記入は認められません。）

出願期間等

出願期間	「入試日程」出願期間　　6 ページ参照 ※出願期間内必着
出願方法	・出願書類一式をレターパック、簡易書留等、配達記録の残る方法で郵送すること。 ・封筒の表面に「大学院看護学研究科（博士前期課程）出願書類在中」と朱書きすること。
出願書類送付先	大阪歯科大学 大学院看護学研究科開設準備室 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8-1　　電話：072-864-3205

（注）提出された書類については、理由の如何にかかわらず返却できません。必要があれば、ご自身で控えを取り保管してください。また、書類に不備があった場合には受付ができませんので、よくお確かめの上お送りください。

出願の受理及び受験票の送付

出願期間内に出願書類が不備のない状態で届き、入学検定料の入金確認が完了次第、出願を受理し、出願期間終了後に受験票を郵送します。

12. 入学検定料

下記入学検定料を指定の振込先に振込み、振込明細書のコピー（インターネットバンキングの場合、振込完了画面を印刷）を出願書類一式に同封してください。

＜入学検定料＞

30,000 円

＜振込先＞　　①または②いずれの口座でも可

① 金融機関：三井住友銀行
支 店 名：くずは支店
預金種別：普通
口座番号：1630242
口座名義：学校法人　大阪歯科大学
（カナ）：ガッコウホウジン　オオサカシカダイガク

② 金融機関：りそな銀行
支 店 名：くずは支店
預金種別：普通
口座番号：8581890
口座名義：学校法人　大阪歯科大学
（カナ）：ガッコウホウジン　オオサカシカダイガク

＜振込時の留意事項＞

・振込手数料は本人負担です。

・振込依頼人欄の入金種別コードには「080」と記載してください。※「080」看護学研究科博士前期課程の識別

・必ず受験者本人名義で振込してください。
・一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。

13. 入学試験

選抜方法

筆記試験（英語・専門科目）と面接試験及び出願書類審査の結果を総合的に判断し、選抜を行います。

試験科目・時間割

試験時間	試験科目	配点	備考
9:00 ～ 10:00 (60 分)	専門科目	100 点	共通問題と専門看護問題の 2 種類で構成 (日本語)
10:25 ～ 11:25 (60 分)	外国語（英語）	100 点	冊子体の辞書の持ち込み可（電子辞書は不可）
12：10 ～	面接	－	志望理由書に基づき、個人面接を実施。

試験会場

大阪歯科大学 楠葉キャンパス(楠葉西学舎)

注意事項

・試験当日は受験票を持参し、試験開始の 10 分前までに着席してください。
・昼食は各自で持参してください。
・試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関をご利用ください。

14. 合格発表

所定の日程に、本学ホームページで発表します。（https://www.osaka-dent.ac.jp/）
同日中に、合格者には合格通知文書等を郵送します。
（合格発表日に発送しますので到着は翌日以降になります。）
なお、合否に関して、電話や窓口での問い合わせには、一切応じません。

15. 入学手続・学納金等

所定の期日までに学納金（入学金、１年前期の授業料）の納入と、本学所定の書類及び住民票又は住民票記載事項証明書を提出する必要があります。入学手続の詳細は、合格通知文書とともに郵送しますので、これに従って手続きを行ってください。

	入学年度納付金額		2 年次以降納付金額	
	入学手続時	後期	前期	後期
入学金	150,000 円			
授業料	335,000 円	335,000 円	335,000 円	335,000 円
合計	485,000 円	335,000 円	335,000 円	335,000 円

（注 1）教科書代等は別途必要となります。
（注 2）社会情勢の変動があった場合、金額は改定することがあります。

16. 入学辞退

全ての入学手続を完了した者が、2027 年 3 月 31 日（水）17 時までに本学所定の様式により入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く既納入金を返還します。ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。
上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類及び学納金は一切返還しません。

17. 合格又は入学許可の取消し

次に該当する場合、合格の取消し、入学後の場合は入学許可を取消しますのでご注意ください。
合格又は入学許可の取消しがあった場合でも、一旦納入された学納金は返還いたしません。あらかじめご了承ください。

（1）看護師、保健師又は助産師の国家資格取得が確認できない場合
看護師、保健師又は助産師の免許を取得見込みで出願した方は、2027 年 5 月 31 日（月）までに当該免許証の写しを提出してください。

（2）「8．出願資格」の（1）～（8） の資格取得が確認できない場合
2027 年 3 月 31 日（水）までに取得見込みで出願した方は、2027 年 4 月 1 日（木）までに当該資格を取得したことが分かるもの（卒業証明書等）を提出してください。

（3）外国人留学生で 「8．出願資格」の（9） の資格取得が確認できない場合
資格取得が確認できるものを所定の期日までに提出してください。

18. 大学院設置基準第 14 条による教育方法の実施

有職者の再教育に対応するため、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に規定の教育方法の特例に基づき、夜間等特定の時間帯又は特定の時期に授業及び研究指導を行い、職を辞さずに実践に即した学修の継続が可能な環境を整備・提供しています。
この特例の対象者は、2027 年 3 月 31 日（水）時点で看護師、保健師または助産師として 2 年以上の専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する方とします。これには、看護師、保健師または助産師の免許制度がない国・地域に在住し、2027 年 3 月 31 日（水）時点でその国・地域で看護師、保健師または助産師の職に 2 年以上従事している又はしていた者も含みます。
この特例を希望する方は、入学願書の所定の欄に必ずチェックしてください。記入がない場合、この特例の対象外とします。

＜参考＞大学院設置基準第 14 条
大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

19. 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2 年）を超えて一定の期間（3 年）にわたり、計画的に履修し、修了することができる制度です。

この制度を希望する方は、教員との事前面談で相談した上で、入学願書の所定の欄に必ずチェックをすると共に長期履修申請書（本学所定の様式）を作成して出願書類に同封してください。

入学後に長期履修制度の選択はできません。

(1) 対象者	①職業を有する者 ②育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難な者 ③やむを得ない事情により、標準修業年限で修了することが困難と認められる者
(2) 長期履修期間	3 年
(3) 結果通知	入学試験の合格通知文書に同封して郵送
(4) 授業料	本学が定めた年間の授業料×標準修業年限（2 年）÷ 許可された修業年限（3 年） ※授業料の総額は通常学生と同じ

II. 博士後期課程

1. 養成する人材

高度な倫理的判断力を持ち、看護学の高度な専門性に立脚し、保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を持ち、自立して高水準の研究を遂行し、確かな教育力と研究成果の社会実装・展開力を兼ね備え、社会の創造に貢献できる人材

2. 三つのポリシー　ディプロマ・ポリシー ―学位授与の方針―

博士後期課程における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は以下の能力を培い、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に「博士（看護学）」の学位を授与する。

DP 1．保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を修得している

DP 2．研究成果を実装することを視野に入れた確かな教育力と高度な倫理的判断力を持ち、看護学の高い水準の研究を自立して遂行する能力を修得している

DP 3．看護学の研究成果を発信し、学術的発展に貢献できる能力を修得している

3. カリキュラム・ポリシー ―教育課程の編成・実施方針―

博士後期課程のディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、教育内容、教育方法を明確化するため、カリキュラム・ポリシーは以下のとおり定める。

CP1. 教育課程は「共通科目」、「専門科目」、「専門研究科目」の 3 科目区分から構成する。

CP2. 保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を修得するため、「共通科目」に「研究方法論特別講義Ⅰ」「地域ヘルスケア論Ⅱ」「英語論文演習」等を配置する。

CP3. 研究成果を実装することを視野に入れた確かな教育力と看護学の高い水準の研究を遂行する能力を修得するため、「共通科目」に「研究方法論特別講義Ⅱ」「研究方法論特別講義Ⅲ」「看護教育特別講義」等を配置する。

CP4. 国内外の学術誌や各専門看護学の実践に関する教育・研究を通じて、看護学の学術的発展に貢献できる能力を修得するため、「専門科目」に「基礎看護学」「生涯看護学」「広域看護学」の 3 領域を設ける。領域には授業科目として各専門看護学の特別講義及び演習Ｄを配置する。

CP5. 学術的意義のある研究課題を見出し、自立的・計画的・持続的に博士論文を作成するため、「専門研究科目」に「看護学特別研究Ｄ」を配置する。

教育・学習方法は、講義及び演習を中心とする。学修成果は、授業科目では到達目標と評価基準をシラバスに明示し総合的に評価し、研究では主査 1 名と副査 2 名の審査委員による博士学位論文審査・最終試験により評価する。

4. アドミッション・ポリシー ―入学者受け入れ方針―

博士後期課程のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの目標・内容を踏まえ、どのような入学者を受け入れるか、入学者に求める学力を明確化するため、アドミッション・ポリシー以下のとおり定める。

AP 1．看護学を中心とした保健医療を取り巻く環境における課題の発見と解決に強い関心を持つ人

AP２． 高い倫理観を持ち、看護学の研究を遂行し、探求を継続する意志とそのための基礎的な研究力を有する人

AP３．研究成果を発表し、学術的発展に貢献する意欲のある人

5. 教育課程

カリキュラム・ポリシーに基づき、次の３つの科目群にカリキュラムを分類し、体系的に教育を行う。

【1】 共通科目 全ての学生が共通して受講する科目で、自立して研究を実施できるとともに研究者指導者や管理者としての能力を養成する科目

【2】 専門科目 研究指導を実践して、指導力を養成するとともに研究能力を高める演習科目

【3】 専門研究科目 独創的な研究を自身で立案し実行する科目で、博士前期課程よりも高度で専門性の高い研究を行うことを目標とする演習科目

＜科目一覧＞

科目区分		科目名	配当年次	単位数	
				必修	選択
【1】共通科目		研究方法論特別講義Ⅰ	1年前期	2	
		研究方法論特別講義Ⅱ	1年後期		1
		研究方法論特別講義Ⅲ	1年後期		1
		英語論文演習	1年後期		1
		地域ヘルスケア論Ⅱ	2年前期		1
		看護教育特別講義	2年前期	2	
【2】専門科目	基礎看護学領域	基礎看護学特別講義	1年前期		2
		基礎看護学演習Ｄ	1年通期		2
	生涯看護学領域	成人・老年看護学特別講義	1年前期		2
		成人・老年看護学演習Ｄ	1年通期		2
		小児看護学特別講義	1年前期		2
		小児看護学演習Ｄ	1年通期		2
	広域看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特別講義	1年前期		2
		ウィメンズヘルス看護学演習Ｄ	1年通期		2
		地域看護学特別講義	1年前期		2
		地域看護学演習Ｄ	1年通期		2
		精神看護学特別講義	1年前期		2
		精神看護学演習Ｄ	1年通期		2
【3】専門研究科目		看護学特別研究Ｄ	1年～3年通期	8	

＜修了要件＞

3年以上在学し、所定の単位を18単位以上修得した上で、博士論文の審査及び試験に合格すること。

修得すべき所定の単位は次のとおり。

項目	必修・選択の別	必要単位数
共通科目	必修	4 単位
	選択	2 単位以上 ただし、研究方法論特別講義Ⅱ、研究方法論特別講義Ⅲのいずれかを履修
専門科目	選択	4 単位以上 ただし、4 単位は専攻する専門看護学の特別講義、演習Ｄを履修
専門研究科目	必修	8 単位

6. 募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程（3 年）	3 名

7. 入試日程

入学資格審査　※ 申請書類受付期間	2026 年 12 月 10 日（木)～ 2026 年 12 月 16 日（水）【必着】
出願期間	2027 年 1 月 7 日（木)～ 2027 年 1 月 21 日（木）【必着】
試験日	2027 年 2 月 7 日（日）
合格発表日	2027 年 2 月 18 日（木）
入学手続期間	2027 年 2 月 18 日（木)～ 2027 年 3 月 2 日（火）【必着】

※ 該当者のみ申請が必要となります。

「８．出願資格」 の (6) ～ (8) により出願を希望する方は、出願前に個別の入学資格審査を受けてください。

（申請方法の詳細は、18 ページ「個別の入学資格審査」をご覧ください。）

8. 出願資格

看護師又、保健師又は助産師の免許を取得済み又は取得見込みであり、次のいずれかに該当する者を受験資格者とする。なお、入学を希望する者はあらかじめ希望する研究指導教員に事前相談を行うものとする。

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者または取得見込みの者

(2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または授与見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または授与見込みの者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または授与見込みの者

(5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与見込みの者
(6) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
(7) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
(8) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学院の博士課程（前期）又は修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者であって、24 歳に達した者
外国人留学生は、上記(1)～(8)に加えて、次の要件が必要です。
(9) 日本語能力試験（JLPT）N1 相当の者

9. 担当教員および事前相談

博士後期課程で研究に関わる教員は以下の通りです。出願（または個別の入学資格審査の申請）に当たっては必ず事前相談を行ってください。
各教員の研究テーマは、24 ページの一覧でご確認ください。

領域	専門看護学（所属）	2027 学生募集	職位	氏名	アカウント
基礎看護学領域	基礎看護学	◎	教授	石原逸子	ishihara-i
	基礎看護学	◎ ※1	教授	三輪建二	setchi-odu ※2
	基礎看護学	◎ ※1	准教授	北尾良太	kitao-r
生涯看護学領域	成人・老年看護学	◎	教授	田村恵子	tamura-k
	成人・老年看護学	◎	教授	雄西智恵美	onishic
	成人・老年看護学	◎	教授	大山末美	oyama-s
	成人・老年看護学	◎ ※1	教授	笹谷真由美	setchi-odu ※2
	小児看護学	◎	教授	祖父江育子	sobue-i
広域看護学領域	ウィメンズヘルス看護学	◎	教授	渡邊浩子	setchi-odu ※2
	ウィメンズヘルス看護学	◎	教授	福山智子	fukuyama-t
	地域看護学	◎	教授	星野明子	hoshino-a
	地域看護学	◎	教授	合田加代子	goda-k
	地域看護学	◎ ※1	准教授	野口宣人	noguchi-n
	精神看護学	◎ ※1	教授	清水純	setchi-odu ※2

メールアドレスは、アカウントの後ろに　@cc.osaka-dent.ac.jp　をつけて下さい。

※1　研究指導補助教員
※2　アカウント setchi-odu は看護学研究科開設準備室のメールです。準備室経由で該当教員に連絡します。
その他：事前相談を行う担当教員が定まっていない場合は、setchi-odu までご連絡ください。

10. 個別の入学資格審査（該当者のみ）

「8．出願資格」の(6)～(8)のいずれかにより出願を希望する方は、入学資格審査の申請を行ってください。

提出書類	【全員共通】 ・入学資格審査申請書（本学所定の様式） ・18 ページの「出願書類」1～4、7～9 の書類 ・審査結果通知返送用封筒 ※特定封筒郵便物（青色のレターパックライト）に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入して同封してください。 【外国人留学生】 上記全員共通の書類に加え、18 ページの「出願書類」13～16 ※提出書類のうち、本学所定の様式については本学ホームページ（19 ページ参照）からダウンロードし、印刷してお使いください。
提出期間	「入試日程」入学資格審査申請書類受付期間　16 ページ参照 ※受付期間内必着
提出方法	・レターパック、簡易書留等、配達記録の残る方法で郵送すること。 ・封筒の表面に「大学院看護学研究科（博士後期課程）入学資格審査申請書類 在中」と朱書きすること
提出先	大阪歯科大学 大学院看護学研究科開設準備室 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8-1　電話：072-864-3205

（注）提出された書類については、理由の如何にかかわらず返却できません。必要があれば、ご自身で控えを取り保管してください。また、書類に不備があった場合には受付ができませんので、よくお確かめの上お送りください。

＜審査結果＞

入学資格審査結果は審査が終了次第文書にて郵送します。出願開始までに通知が届かない場合は「お問い合わせ先」へご連絡ください。出願資格が認められた場合は、入学検定料を納入の上、出願期間内に出願書類（個別の入学資格審査で提出済みの書類を除く）を郵送してください。

11. 出願方法

出願書類

1	入学願書	本学所定の様式
2	経歴書	本学所定の様式
3	研究業績書	本学所定の様式
4	志望理由書	本学所定の様式
5	研究計画書	本学所定の様式
6	受験票・写真票	本学所定の様式
7	成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。
8	修了（見込み）証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。

9	免許証のコピー	看護師、保健師、助産師免許のコピー （サイズが大きいものはA4サイズに縮小コピー）
10	入学検定料振込証明書類	20ページ「入学検定料」参照
11	受験票返送用封筒	特定封筒郵便物（青色のレターパックライト）に 郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上同封してください。
12	長期履修申請書 （該当者のみ）	本学所定の様式

（注）7～9について、現在の氏名と異なる場合は、異動内容が確認できる戸籍抄本等を同封してください。

外国人留学生は、上記1～11に加えて、次の13～16の書類も同封してください。

13	日本語能力試験（JLPT）に 関する認定結果及び成績に関する証明書	N1以上とします。
14	パスポートのコピー	顔写真・氏名・パスポート番号が確認できるページのコピー
15	在留カードのコピー	カードの両面をコピー
16	在学中の経費支弁能力を証明する書類	【本人が学費・生活費を支弁する場合】 下記①②のいずれか、又はこれに準ずる書類を提出してください。 ① 奨学金給付の証明書又は就労（予定）証明書等 ② 本人名義の銀行等における預金残高証明書 （借金等による一時的入金がない。） 【本人以外が学費・生活費を支弁する場合】 下記①～③のいずれか、又はこれに準ずる書類及び本人と経費支弁者の関係を証明する書類を提出してください。 ① 経費支弁者の在職証明書・営業許可証等の就労証明書 ② 経費支弁者の収入証明書 ③ 経費支弁者の預金残高証明書

● 出願書類作成上の注意

（1）本学所定の用紙は、本学ホームページからファイルをダウンロードし、印刷してお使いください。

大阪歯科大学 TOPページ ＞大学院看護学研究科(仮称)特設サイト ＞ 入試情報

https://www.osaka-dent.ac.jp/faculty/hs_grad/mc/admission.html

（2）出願書類は自筆で記入又はパソコンで作成してください。ただし、パソコンで作成する場合でも、氏名は必ず自筆で記入してください。記入に当たっては、黒色のペン又はボールペンで記入してください。（温度変化により無色になるインキを使用しているペンでの記入は認められません。）

出願期間等

出願期間	「入試日程」出願期間　　16ページ参照 ※出願期間内必着
出願方法	・出願書類一式をレターパック、簡易書留等、配達記録の残る方法で郵送すること。 ・封筒の表面に「大学院看護学研究科（博士後期課程）出願書類在中」と朱書きすること。

出願書類送付先	大阪歯科大学 大学院看護学研究科開設準備室 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8-1　　電話：072-864-3205

（注）提出された書類については、理由の如何にかかわらず返却できません。必要があれば、ご自身で控えを取り保管してください。また、書類に不備があった場合には受付ができませんので、よくお確かめの上お送りください。

出願の受理及び受験票の送付

出願期間内に出願書類が不備のない状態で届き、入学検定料の入金確認が完了次第、出願を受理し、出願期間終了後に受験票を郵送します。

12. 入学検定料

下記入学検定料を指定の振込先に振込み、振込明細書のコピー（インターネットバンキングの場合、振込完了画面を印刷）を出願書類一式に同封してください。

＜入学検定料＞

30,000 円

＜振込先＞　①または②いずれの口座でも可

① 金融機関：三井住友銀行
支 店 名：くずは支店
預金種別：普通
口座番号：1630242
口座名義：学校法人　大阪歯科大学
（カナ）：ガッコウホウジン　オオサカシカダイガク

② 金融機関：りそな銀行
支 店 名：くずは支店
預金種別：普通
口座番号：8581890
口座名義：学校法人　大阪歯科大学
（カナ）：ガッコウホウジン　オオサカシカダイガク

＜振込時の留意事項＞

・振込手数料は本人負担です。
・振込依頼人欄の入金種別コードには「090」と記載してください。※「090」看護学研究科博士後期課程の識別
・必ず受験者本人名義で振込してください。
・一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。

13. 入学試験

選抜方法

筆記試験（英語）、研究計画書及びプレゼンテーション、面接試験及び出願書類審査の結果を総合的に判断し、選抜を行います。

試験科目・時間割

試験時間	試験科目	配点	備考
10:25 ～ 11:25 （60 分）	外国語（英語）	100 点	冊子体の辞書の持ち込み可（電子辞書は不可）
13:45 ～ 15:45	研究計画書および プレゼンテーション	100 点	研究計画書に基づき、PowerPoint によるプレゼンテーションを実施。（日本語） （プレゼンテーション時間 1 人 20 分以内）
16:00 ～	面接	－	志望理由書に基づき、個人面接を実施。 （日本語）

志願者数によっては面接開始時間が前後する場合があります。

試験会場

大阪歯科大学 楠葉キャンパス(楠葉西学舎)

注意事項

・試験当日は受験票を持参し、試験開始の 10 分前までに着席してください。
・昼食は各自で持参してください。
・試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関をご利用ください。

14. 合格発表

所定の日程に、本学ホームページで発表します。（https://www.osaka-dent.ac.jp/）
同日中に、合格者には合格通知文書等を郵送します。
（合格発表日に発送しますので到着は翌日以降になります。）
なお、合否に関して、電話や窓口での問い合わせには、一切応じません。

15. 入学手続・学納金等

所定の期日までに学納金（入学金、１年前期の授業料）の納入と、本学所定の書類及び住民票又は住民票記載事項証明書を提出する必要があります。入学手続の詳細は、合格通知文書とともに郵送しますので、これに従って手続きを行ってください。

	入学年度納付金額		2 年次以降納付金額	
	入学手続時	後期	前期	後期
入学金	150,000 円			
授業料	335,000 円	335,000 円	335,000 円	335,000 円
合計	485,000 円	335,000 円	335,000 円	335,000 円

（注 1）教科書代等は別途必要となります。
（注 2）社会情勢の変動があった場合、金額は改定することがあります。

16. 入学辞退

全ての入学手続を完了した者が、2027 年 3 月 31 日（水）17 時までに本学所定の様式により入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く既納入金を返還します。ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。
上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類及び学納金は一切返還しません。

17. 合格又は入学許可の取消し

次に該当する場合、合格の取消し、入学後の場合は入学許可を取消しますのでご注意ください。
合格又は入学許可の取消しがあった場合でも、一旦納入された学納金は返還いたしません。あらかじめご了承ください。

（1）看護師、保健師又は助産師の国家資格取得が確認できない場合
看護師、保健師又は助産師の免許を取得見込みで出願した方は、2027 年 5 月 31 日（月）までに当該免許証の写しを提出してください。

（2）「8．出願資格」の（1）～（8） の資格取得が確認できない場合
2027 年 3 月 31 日（水）までに取得見込みで出願した方は、2027 年 4 月 1 日（木）までに当該資格を取得したことが分かるもの（卒業証明書等）を提出してください。

（3）外国人留学生で 「8．出願資格」の（9） の資格取得が確認できない場合
資格取得が確認できるものを所定の期日までに提出してください。

18. 大学院設置基準第 14 条による教育方法の実施

有職者の再教育に対応するため、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に規定の教育方法の特例に基づき、夜間等特定の時間帯又は特定の時期に授業及び研究指導を行い、職を辞さずに実践に即した学修の継続が可能な環境を整備・提供しています。
この特例の対象者は、2027 年 3 月 31 日（水）時点で看護師、保健師または助産師として 2 年以上の専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する方とします。これには、看護師、保健師または助産師の免許制度がない国・地域に在住し、2027 年 3 月 31 日（水）時点でその国・地域で看護師、保健師または助産師の職に 2 年以上従事している又はしていた者も含みます。
この特例を希望する方は、入学願書の所定の欄に必ずチェックしてください。記入がない場合、この特例の対象外とします。

＜参考＞大学院設置基準第 14 条
大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

19. 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（3 年）を超えて一定の期間（4 年）にわたり、計画的に履修し、修了することができる制度です。

この制度を希望する方は、教員との事前面談で相談した上で、入学願書の所定の欄に必ずチェックをすると共に長期履修申請書（本学所定の様式）を作成して出願書類に同封してください。
入学後に長期履修制度の選択はできません。

(1) 対象者	①職業を有する者 ②育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難な者 ③やむを得ない事情により、標準修業年限で修了することが困難と認められる者
(2) 長期履修期間	4年
(3) 結果通知	入学試験の合格通知文書に同封して郵送
(4) 授業料	本学が定めた年間の授業料×標準修業年限（3年）÷ 許可された修業年限（4年） ※授業料の総額は通常学生と同じ

III. 博士前期・後期課程　共通事項

1. 研究テーマ

本研究科で研究に関わる各教員の研究テーマは次のとおりです。

氏名	研究テーマ
石原逸子	ケア・ケアリングの意味や専門職者の倫理性、看護の対象者との関係性における臨床判断力などの研究を通して、看護実践における学問的背景の理解を深め、看護学の基盤となる基礎看護学における学問的・専門的発展を目指す研究
大山末美	がん看護に関する研究では、がん患者の心理的側面のケアの方法や学部教育への導入について探究している。学部教育に関する研究では、成人看護学の教育方法に関する研究、口腔健康管理に関する研究
雄西智恵美	がんの侵襲的治療を受ける成人・老年期にある人に対する治療完遂に向けた主体的な治療・療養行動促進のための支援開発や、サバイバーとしてのニードを概念化し、新しい日常生活を構築するためのセルフケア能力獲得を促進する看護方法の開発を目指す研究
北尾良太	医療・ケアにおける患者・クライアントの経験を、当事者の視点から現象学的に探究する記述的研究。人を対象とする研究倫理や臨床倫理、看護倫理の原理原則を、患者や弱者の経験的視点から現象学的アプローチによって問い直す研究
合田加代子	地域住民主体のコミュニティづくり、住民組織活動、コミュニティエンパワメントに基づく地域保健活動の推進に関する研究、公衆衛生看護学教育の質の向上及び保健師の人材育成に関する実践学的研究
笹谷真由美	認知症高齢者の尊厳とその人らしい生活を支えるケア、高齢者施設における看護師の専門性や看護実践能力の明確化と向上を探究し、高齢者と家族のウェルビーイングと老年看護実践の質向上を目指す研究
清水純	人の話し言葉に含まれる母音を数理的に解析し、精神疾患の早期発見や自殺リスクの評価に関する研究を探究している。多言語での運用が可能な本手法の特性を活かし、国際的な精神看護学研究の発展を目指す研究
祖父江育子	小児がん（経験）児の看護、特に「小児がんサバイバーの健康支援や復学支援」研究を探究している。その他「小児の痛み緩和」研究、「低出生体重児のデベロップメンタルケアと痛み緩和」研究
高尾憲司	少子化や医療の進歩を背景に、慢性疾患や医療的ケアとともに生活する子どもと家族への支援の重要性が高まる中、その生活課題やセルフケアを小児看護学の視点から探究し、成長・発達を支える看護実践および支援プログラムの開発を目指す研究
田村恵子	緩和ケア、エンドオブライフケア、グリーフケアにおける患者・家族・医療者の体験の意味やケアの質を、ケアリングの視点から対話を重視して探究し、人々のウェルビーイングの向上と看護実践・看護教育の発展を目指す研究
野口宣人	医療従事者の身体的・心理的健康に関連する個人特性や職場環境要因を明らかにし、健康の維持・向上に向けた支援方策を検討する研究

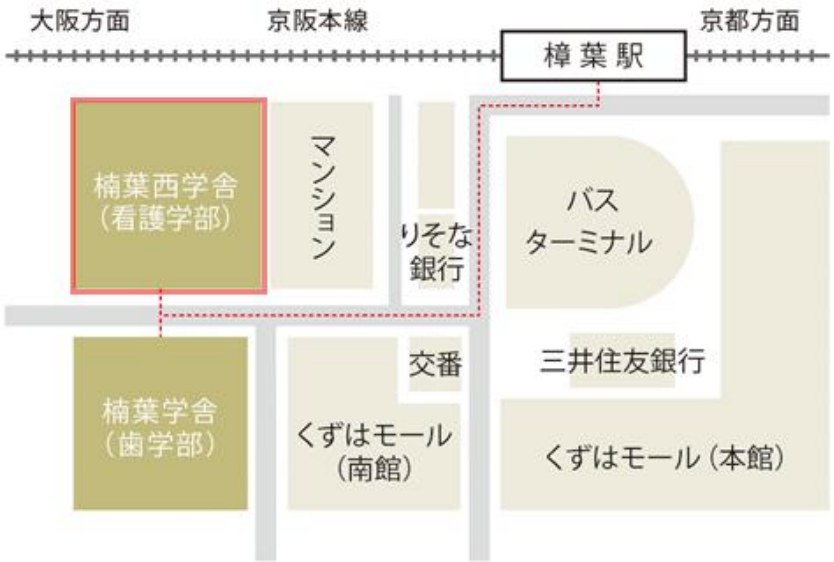
福山智子	女性のライフサイクルを通じた健康課題を解決することで、女性の well-being の向上を目指す実践的な研究を行っている。特に、次世代のリプロダクティブヘルスやプレコンセプションケアに関する社会実装を目指した介入研究
星野明子	超高齢化と変化し続ける社会に暮らす多世代の人々の健康と社会的つながりや孤立に関連する課題を、公衆衛生学・公衆衛生看護学・地域看護学の視点から探究し、保健師や地域看護職の支援方法の開発や地域住民と共に創る活動実践と評価の研究
三輪建二	看護教育や看護師研修においてハウツー的な教育方法よりも、成人学習論（成人の自己決定性、経験の尊重、意識変容）をふまえ、患者観、看護観、看護師観のリフレクションを根底に置いた学習支援や評価を行うことを目指す研究
渡邊浩子	プレコンセプションケア、育児支援、更年期ケアなど、女性のライフステージ各期における健康課題を、母子保健学、母性看護学、助産学の視点から探究し、女性の Well-being の向上と看護実践の発展に貢献する研究

2. お問合わせ

大阪歯科大学大学院看護学研究科開設準備室
所在地：〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8-1
電話番号：072-864-3205（平日 9:00～16:00）
※上記電話がつながらない場合は 072-864-3201（平日 9:00～16:00）看護学部事務室まで
メールアドレス：setchi-odu@cc.osaka-dent.ac.jp

3. アクセス地図

大学最寄り駅　京阪本線「樟葉駅」　※特急停車駅
（大阪方面）京阪本線　京橋駅から約 20 分
（京都方面）京阪本線　祇園四条駅から約 22 分



樟葉駅から大阪方面へ徒歩約５分